



発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代1385-18
Tel 080-9571-4663
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子

小網代通信

2019年3月号 VOL-249

今月の内容

- | | | |
|---------------------------|--------------------|--------|
| ・連絡事項 | 編集委員 | 1ページ |
| ・「2019年2月13日(水) KYC 定時総会」 | 編集子 | 2ページ |
| ・「小網代湾泊地 海底の現況調査報告」 | 三浦 征幸(ハーバー整備管理委員長) | 3~5ページ |

連絡事項 (編集委員)

1. < KYC 定時総会が開催されました >

2月13日水曜日19時より(三田)駐健保会館4階大会議場にて、小網代ヨットクラブの定時総会が出席艇数32艇、委任状10艇の参加により開催されました。2018年の活動報告(清水会長)会計報告(望月会計担当)夫々の報告があり、承認されました。また、2019年よりの新会長:飯島洋一氏(サーモンフォー)と副会長:野村征司氏(はやとり)が紹介され、満場一致で承認されました。

新会長より、2019年度の活動予定と会計から2019年度予算案が示されました。



この後、5艇のオーナー及び代表者交代の挨拶が行われ、無事定時総会は終了いたしました。総会風景と新会長・副会長、各新オーナー及び代表者の方々は、2ページでご紹介いたします。小網代フリート総会も同会場にて開催されました。
← 2月KFRスタート(コミッティボートから)

2. < 春のクルージング 3月23日(土)~24日(日)開催案内 >

クルージング委員会より開催告知がメールで案内されました。飛び石連休の土日です。

目的港は、真鶴港。23日16時までに集合し、17時30分より夕食(磯料理・岩忠)と懇親会。翌日24日10時までに(出港)解散となります。早割申込日(3月1日)は終了しています。レイトエントリー3月15日金曜日ですので参加希望艇、参加希望者は、下記のアドレスにお申込みください。

クルージング委員会 <cruisingkyc@gmail.com>



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 3月18日(月)18:30~21:00 駐健保会館4階会議室(JR田町駅より徒歩10分)】

2019.3月号-1

2019年2月13日(水) KYC 定時総会



清水前会長には、KFR500回記念レースなどで内外に KYC の広報に携わっていただきました。二年間大変お疲れ様でした。

【 新会長・新副会長のご紹介 】

新会長： 飯島洋一（サーモンフォー）



新会長は、小網代ヨットクラブ草創期から三代目「サーモンフォー」の飯島洋一氏が、昨年までの副会長の経験を経て、新会長として就任しました。

新副会長： 野村征司（はやとり）



新副会長は、現在 KFR のレース委員長として活動し、また「はやとり」現代表、小網代二世代目として艇を引き継いで対外のレースにも参加活躍されています。

新会長と新副会長は同年齢！！
これからの KYC の牽引をしていただけると期待されています。

【 オーナー及び代表オーナー交代 】

5艇の代表の方々が、2名のクラブ艇オーナー・代表オーナーから推薦を得てご挨拶をされました。



OLIVIA
長岡 弘氏



KELONIA
三好 明男氏



サンゴ
藤原理恵子氏



YODELER
中嶋 博孝氏



GULL
松本 浩平氏

小網代湾泊地 海底の現況調査報告 2019.02.28

ハーバー整備管理委員長 三浦征幸

今年1月19日(土)に、小網代湾泊地の潜水調査を実施いたしました。

今回の調査は、敷設後10年になる組合設置のコンクリートシンカー(トウフ)の現況把握と写真撮影が目的で、海水透明度の高い冬季に実施しました。

今回の作業は<ケロニア>メンバーの澤樹征司氏の発案、カメラメジャー等必要機材は澤樹氏持参で、ダイバー澤樹 テンダー上から大谷委員 佐々木事務局長 三浦が補助を行いました。澤樹氏は海洋土木の調査等をする仕事の、プロフェッショナルです。

当日は天候に恵まれ海面は穏やか、水中透明度良好で調査は順調に行われました。後日、澤樹氏から詳細な報告書と写真の提出をいただきました。

全般的には、「緊急の課題は見当たらなかったが、中長期的には早めの対応が必要」の箇所が散見されました。今回の調査を踏まえ、漁協との相談、今後の対応に役立てて行きたいと思っております。

真冬の冷たい海水の中、長時間にわたって調査いただいた澤樹氏に深く感謝します。

澤樹氏報告書の閲覧

澤樹氏から報告書(A4版13ページ)と写真(約360枚)、動画9本が入ったDVDをKYCにいただきました。その概要を2月18日の総務委員会で報告しました。

クラブハウス内でもDVDを閲覧できますので、是非ご覧ください。普通では見られない鮮明で迫力のある小網代の海底の様子を参考にしてください。KYC-HP(会員専用)からも閲覧できるようにHP担当に依頼しています。

宿題事項

今回の調査で澤樹氏から指摘された事項で、シンカー列の存在が図面と異なる箇所があることが分かりました。今後実態調査をして確認する必要があります。

【内容】今回は、ハーバー整備管理委員会が把握して公開しているアンカー図に基づいて海底調査を行った。澤樹氏報告書の中に「4列目のシンカー間チェーンの列の存在が今回の調査では確認できなかった」ということが記されている。これには、次の2つのどちらかが考えられる。

- (1)シンカー間チェーンは実際2列あるが、たまたま今回は4列目を発見できなかった。
- (2)シンカー間チェーンの列は実際には3列目の1列のみである。⇒ アンカー図の訂正要

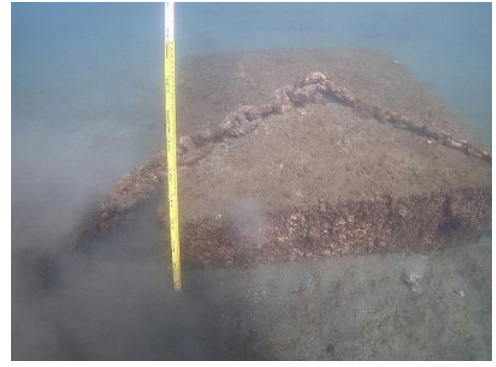
以下に、澤樹氏の報告書の写真、まとめ部分、今後の対応に関する部分を原文のまま抜粋します。但し、意見や提案等は澤樹氏の見解であり、ハーバー整備管理委員会の決定事項ではありません。

澤樹氏報告書から抜粋(写真の一部と所見)

調査方法:シンカーの区別のため、シンカーに前列左から1~28の借り番号を付与して調査を行った。

ここでいう吊り筋とは、シンカーの上部に埋め込んである逆U字型金具のこと。

シンカーの
沈下状況



典型的な沈下状況(左:1番)10~30 cm 最も大きな沈下状況(右:23番)約80 cm

吊り筋の
痩せ具合



吊り筋とシャックルの接続状況

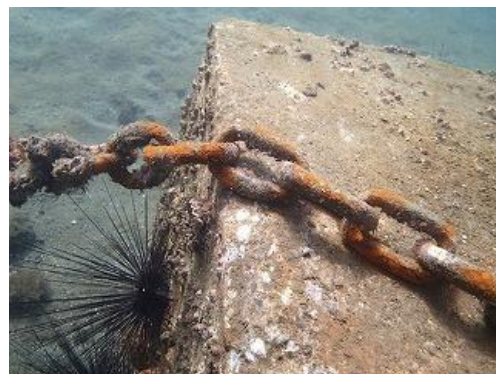
接触面の摩耗状況



吊り筋の健全な箇所の測定状況 ϕ 31.7mm

摩耗箇所の測定状況 ϕ 27.2mm

シンカーと
チェーンの
接続箇所(1)



シンカーとチェーンの接触箇所

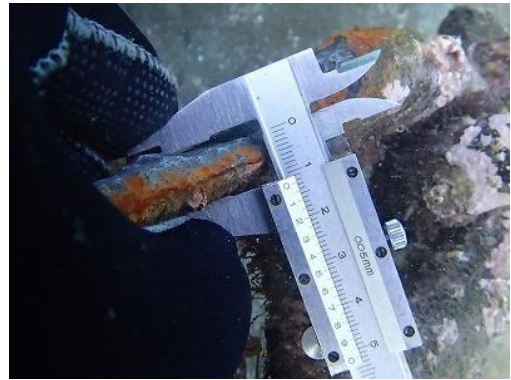
リング付近の状態

注) 下はシンカー側、上は各艇へ

シンカーと
チェーンの
接続箇所(2)



21 番シンカーチェーンの摩耗箇所。



チェーンがφ30mm→12mmまで摩耗

唐人アンカー
の状況



唐人アンカー設置状況



付近でみられたアンカーとロープとの交差接触状況

——澤樹氏の所見——

1. シンカーの沈下状況

前方から1列目から3列目のシンカーは、いずれも転倒や移動、過度な沈下は見られず健全な状態であった。4列目のシンカー列は発見できなかった。

2. 釣り筋の痩せ状況について

吊り筋はシャックルで接続しているため、接触部分に摩耗が発生している。修復できない摩耗であり、代替のシンカー再設置には多大なコストがかかることから、早期に吊り筋の長寿命化を図るような対策を講じることが望ましい。

対策(案):現在の釣り筋とシャックルの部分に、同様なサイズのシャックルを下側にかませる。接触点が上部に変わるので吊り筋破断時期を延命することができる。

3. チェーンの痩せ状況について

シンカー間のチェーン、係留系チェーンとも部分的に痩せている個所があり、破断事故が想定されることから、破断前に対処することが望ましい。21番付近シンカー間チェーンは数年おきに点検を、23番係留系チェーンは数年以内に交換することが望ましい。

4. 今後も定期観察が必要

冬季は水が澄むため、細部の点検や捨てアンカーなどの探索が容易で正確に行なえる。これからは、冬季に状況を確認(捨てアンカーなどはGPSで座標を取得)しておくことで、ハーバー整備の際の作業量見積りや優先順位の検討などができ、ひいては効率的な整備が可能となると思われる。

以上